

事業番号	15 05 07	事業改善シート（25年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	学校教育活動振興事業				担当課	部局	教育委員会事務局	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	教学指導課		
	施策の総合的展開				E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	不明 ～		

1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 優れた文化芸術に触れる機会を通じ、豊かな感性に恵まれた生徒を育てる。 各文化部門や学校文化部の取組の充実などにより、県内生徒の更なる技能力向上を目指す。 生徒が、全国大会など高いレベルを目標に学習やクラブ活動などに取り組むことで、目的意識や向上心を育む。 		
現状	<ul style="list-style-type: none"> 高校生の文化部への加入率は3割程度で、各学校での文化部の活性化が望まれている。 活動への取組状況には、学校によって差があり、活動・支援体制が明確でない学校では、活動が停滞している。 		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他) 県民との協働による実施：検討中	【左記の説明、根拠法令等】 全県の活動の水準を高めるためには、県が一定の方向性を示して継続的な支援をして行く必要がある。	

事業内容	① 成果目標(H25)					
	<ul style="list-style-type: none"> 全国大会・ブロック大会出場文化系クラブ数を現状維持する。 教科学習にかかわる全国大会派遣高校数を維持する。 					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H25事業実績	H25		H26
				(当初)	(決算)	(当初)
	高等学校教科競技大会派遣事業	直接	全国及び北信越ブロックレベルの教科学習にかかわる競技会に出場する県立高校生の交通費を補助。	1,644	1,621	
	高等学校文化・芸術フェスティバル事業	直接	・高校生の文化活動のレベルアップ及び一層の活性化を図るため、県単位、支部単位の発表会を開催し、開催経費の一部を負担。	5,000	5,000	5,000
大会生徒派遣事業	直接	他県との交流を深め、文化活動の向上・活性化を図るため、全国大会、ブロック大会に出場する生徒の参加経費の一部を補助。	10,800	10,800	10,260	
高等学校芸術文化鑑賞事業	直接	・高校が学校行事として行う芸術文化鑑賞に要する経費の一部を助成	1,100	1,100	1,045	
全国高等学校総合文化祭開催事業	直接		0		564	
合計			18,544	18,521	16,869	

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越	0	0	0	0
	当初予算	25,774	20,396	18,544	16,869
	補正予算	0	0	0	0
	合計(A)	25,774	20,396	18,544	16,869
	国庫支出金	0	0	0	0
	県債	0	0	0	0
	その他(諸収入)	5,000	5,000	5,000	5,000
	一般財源	20,774	15,396	13,544	11,869
	決算額(B)	25,774	18,800	18,521	
概算職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	
概算人件費(C)	16,516	16,516	16,516	16,516	
概算事業費(B+A+C)	42,290	35,316	35,037	33,385	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
全国大会・ブロック大会出場文化系クラブ数	15校	15校	15校	達成	15校
教科に係わる全国大会派遣高校数(専門高校)	17校	17校	23校	達成	20校

目標に対する成果の状況	全国で上位に入賞した文化クラブが複数あり、H26の活躍も期待したい。全国大会において活躍できる力を付けた専門高校が増加している。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 文化部の水準を高めるため更に継続的な支援が必要である。専門高校の専門性を深化させるために更に継続的な支援が必要である。なお、平成30年度に全国高等学校総合文化祭の本県開催が決まったことから、平成26年度は事業立ち上げのため「学校芸術文化活動支援事業」を施策の一つとして独立させ、また、職業科の教育活動を支援する「高等学校教科競技大会派遣事業」はキャリア教育推進事業へ移行して実施する。
--------------------	---